

第3回多摩市立総合体育館等指定管理者候補者選定委員会 議事要点録

I. 開催日時 令和元年9月10日(火) 18:00～20:00

II. 開催場所 多摩市役所 特別会議室

III. 出席者(敬称略) 15名

委員 (6名) ※欠席委員なし

事務局 (9名)

IV. 議事要点録(敬称略)

1. 資料確認

事務局から説明がなされた。

2. 本日の進め方について

事務局から説明がなされた。

3. 評価に関する意見交換

【質問】 →:事務局

・現指定管理者のこれまでの業務状況の評価はどうか。

→ 現在の指定管理者については、毎年度、実地調査を行ったうえで評価を行っている。指定管理導入の成果としては、利益の利用者還元や利用者数の増加などがあげられる。課題が発生する点もあり、その際は指定管理者と市で協議しながら改善を図ってきている状況である。

・提案内容についての審査の考え方はどうか。

→ 各団体の提案内容については、評価項目に沿った評価を行う必要がある。勤務ローテーションや総括責任者等のマネジメント体制を含めた組織人員体制、施設等の管理に関する具体的な方法、地域貢献等については、各団体の提案内容について、特徴が出ている部分があった。

【意見の要旨】

・「危機管理」について、第2順位の団体は責任者が市内から駆け付けると提案しており評価できるものだった。

・「管理」について、審査対象団体はいずれも実績や経験が十分にあると感じた。

・「コンプライアンス」について、審査対象団体はいずれも問題はなかった。

・審査対象団体はいずれも、個々の施設の管理をするにあたっては問題ないが、施

設をパッケージとして全体管理することにおいては精査が必要だ。

- ・審査対象団体はいずれも、レストランについて現状からレベルアップが図られる具体的な提案がなかった。
- ・「施設の有効活用」について、第1順位の団体は自転車置き場などの具体的な提案があり、期待できるものだった。
- ・「市内事業者の活用」「市内事業者との連携」について、明確に活用・連携を提案している団体と、具体的な数値目標などがなく、ヒアリングからも地域連携が課題であると認識している団体があった。また、提案書の中で今後連携を予定している案件の一覧があったが、いつどのような協議をしていくのか具体的な内容がなかった。地元雇用で、地元の業者を使い、地元からものを買ひ、市内に密着することは、活性化につながるだろう。
- ・審査対象団体はいずれも、財務体質について問題はなかった。
- ・プレゼンテーションで赴任する館長の紹介のある団体と無い団体があった。
- ・武道館に従事する社員の勤務体制に不安を感じた。
- ・芝生の管理の仕方についての提案の差があった。
- ・スポーツに特化し、宣伝に力を入れ、大きなイベントや0歳児を対象とした教室など、目玉となる事業を打ち出す提案があった。一方で、代表企業の統率感や複数の施設を一体の施設として管理することに対する体制には課題もあるように感じた。
- ・決算資料の単位が統一されていない点があるなど、資料の作成の仕方に気になる点があったが、プレゼンテーションの内容は問題ないものだった。
- ・一利用者目線から見て、現行の指定管理者ではなくなっても窓口の対応など、極端に変わることはないと感じた。
- ・自主事業が充実すると指定管理者の運営は円滑になるだろうが、市民の利用枠が減ってしまうため、公共施設としての在り方から離れてしまう。市民にとって利用しやすい施設であってほしい。

【意見総括】

審査は、地域性よりも公共施設としての安定性、管理運営の確実性を重視した。最上位団体は、地域貢献については課題として認識し、レストラン等の利用者の満足度向上についての点は留意いただきたい。2位以降となった団体は、スポーツの分野をアピールしていたが、現行の事業をフォローする提案や公園全体を活かすような提案が十分ではなく、また、構成団体間の協力体制に不安を感じる面があった。プレゼンテーションの内容や資料の作り方は結果に直結しておらず、全体を評価した結果である。

4. **評価表の提出**
事務局から説明がなされた。
5. **報告書（案）の確認**
事務局から説明がなされた。
6. **審査結果の仮報告**
事務局から説明がなされた。
7. **次回の進め方について**
事務局から説明がなされた。